

第六期長期計画・調整計画策定委員会 傍聴者アンケート

第20回実施分（令和5年10月27日開催） 自由記載欄

【傍聴者 会場4名・オンライン16名】

○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。（傍聴者5名記載）

- ・ 国文科省は学校給食無償化を念頭に置いて課題整理するということで学校給食の調査を今している。
- ・ 学校給食無償化
- ・ 保健所 吉祥寺地域の病院 地域公衆衛生一広域化地域化
- ・ 市長と策定委員との意見交換はとても興味深く勉強になりました。私も委員が仰るように財政的裏付が大切だと思っています。今日のような議論がもっと市民にも視える化できるようになると良いなと思いました。
- ・ 給食費無償化について
給食費を無償化する前にチャレンジルームで給食を提供するほうが先。いつもマジョリティ目線で、マジョリティばかりが得するシステム作りはやめよう。マジョリティとマイノリティを別けないでみんなが幸せになる施策にして欲しい。当然、合理的配慮は大前提。
- ・ 市長と策定委員の意見交換について。市議会での“党や支援者の姿が透けて見える”市議との議論より（失礼！）、策定委員との議論のほうが丁々発止で深みがあり面白かったです。
- ・ 給食費無償化の議論について。保護者の経済状態問わず最終的に全児童生徒の無償化を目指すのはいいと思いますが、まずは、チャレンジルームに通う児童への給食の提供が先ではないでしょうか？ 教育委員会が用意した1つの場所に同じ人数の児童が集まっているのだから、できない理由はないと思います。また無償化が実現した場合、不登校児童生徒への給食費に当たる程度の昼食代の支給か給食調理場での給食支給についても考えていただきたいと思います。
- ・ DX推進のために市職員にもスキルアップ(リスキリング)を求めるといい考えだと思います。根性論にならない程度に、でも追い詰められればできるようになる、できるようにするのではないかと期待します。
- ・ 市長との意見交換で取り上げられた給食費無償化の議論は、大変に興味深かった。財政担当の委員が指摘されていたが、市民アンケートの多数意見が教育の質の向上にあることと、市内居住の中学生のうち50%弱が私立ないし市外の国公立学校に通学している事実を踏まえれば、武蔵野市の義務教育政策において何を優先事項とすべきかは自明であると思う。また、市長は給食費無償化が必要である根拠として可処分所得の減少を挙げていたが、その減少分のデータを示すこともせず無償化が合理的政策であるかのように強弁することは無責任であり、ポピュリズムの詭りを逃れないと感じた。
- ・ 議論の終盤で、財政担当および都市基盤担当の委員がそれぞれ私見を述べられていた水道一元化問題は、現在の長期計画の実行期間において着手せねばならない重要課題であることを、あらためて認識させられた。一元化されなかった場合のコスト負担はもちろんのこと、一元化が可能となった場合のコスト負担もしっかりと算定されていない現状に、危機感を感じた。調整計画への

書き込みが、必要なのではないのでしょうか。

○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。（傍聴者4名記載）

- ・ 今回、職員 66 名から意見があったことは大事だと思いました。他市で「なかなか市民の意見が届かない」という声をよく聞きます。職員がより良い市政づくりに前向きにとりくんでいる武蔵野市はとても大事で、都内の自治体のけん引役になっていただけると頼もしいなと思いました。いつもありがとうございます。答申を楽しみにしています。
- ・ 中高生が作成する宣伝動画が楽しみです。
- ・ 給食費負担の問題ですが、本日の議論を拝聴していて、現時点において、給食費の無償化を武蔵野市の恒久的政策にすべき理由は見い出せないと思った。おそらく、大半の市民の合意がえられるのは、緊急的措置として、(委員のお一人が提案されていたように) 市内の小学校の給食費を一律に(たとえば半額に) 減免するであるとか、(練馬区が実施しているように) 二人目以降のお子さんについては無償化するといったような、弾力的措置だと思う。また本日の議論では触れられていなかったが、中学校の給食費の無償化については、市内在住の中学生の半分弱が私立や市外の公立に通学している武蔵野市の現状を踏まえれば、(杉並区長が指摘しているように) 税金の使い道として不公正を助長することになり、容認できないと思った。コロナ禍での経験からしても、中学生の養育世帯に対してヴァウチャーを支給するといったような政策であれば合理性はあると思いますが・・・。
- ・ 調整計画の中に明記されることはないのだと思いますが、境公園の問題について、都市基盤担当の委員から、過去の経緯を検証されたうえで示された4つの選択肢には、若干の唐突感を感じました。あえて市長との意見交換の場で持ち出されたようにも感じましたが、他の委員会などで、具体的な議論をされているのでしょうか？
- ・ いつもありがとうございます。
- ・ ずっと画面を見続けて傍聴しているわけではありませんが、やはり、画があるほうが会議は面白いです。同じように、ウェビナー参加者の顔が見れたほうが策定委員(パネリスト)にとっても面白さや張りあいがあるのかなと思いました。ただ、画にならないような場所でもカメラを消して参加できるのがオンライン会議のいいところだと思うので、カメラ ON が会議参加の条件になると困ってしまいますが…
- ・ 職員の方々のパブリック・コメント、参考になりますし、勉強にもなります。しっかりと読みたいと思います。
- ・ 様々な理由で誰もが気軽に市役所など会議の会場に行けるわけじゃないのでオンライン配信は市民の参加保障を強化できていると思います。
- ・ 今回も現地での傍聴に行けなかったのが、オンライン配信があつて助かりました。雨天時は現地に行くのが難しくなるため、予めオンラインも申し込んでおきましたが、できれば当日会議直前までオンラインの申込受付をしてもらえらるともっと使いやすくなると思います。

※文字及び文章はできる限りアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。

また、委員名については削除しています。